

研究セミナー4 研究のまとめをし、報告書を作成できるようになろう

日時：令和4年8月19日（金）9：30～12：00

場所：千葉市科学館10階探究実験室

参加者：16名

講師：千葉市立稲毛中学校 柴田航先生

「ワタルくんの自由研究報告書」を基に、自分だったらどう直すかを考えます

ここにワタルくんのメジャーリーガー大谷選手についての研究の報告書があります。

悪い見本だよ

これを修正してみよう！

今日は、ワタルくんの研究について考えてみよう！

目的とまとめが繋がっていないと思う。

タイトルから直さなくちゃ

今回の実験結果は、表とグラフのどちらの方が分かりやすい？

読んだ人にわかりやすい形を模索します

後半は個別相談をしました

【受講生の感想】

- レポートのまとめ方や注意しなければならない事が分かった。実験内容だけでなくそれを表や図にする事の大切さがわかった。発表会までの時間が刻々とせまっているので、早めに報告書を作って発表練習をしておきたい。
- 今日の講座でいくつか自分のレポートを修正したいと思った部分があり、参考になりました。自分ではわかるように書いているつもりでも、伝わりにくい場合もあると思うので気をつけて書かなければいけないと思いました。
- 今日の講座は他の人の研究を改善していく形式でわかりやすかったです。レポートを客観的に見るのが大切だと感じました。
- 今日の講師の先生がとても分かりやすく、親しくしてくれて、やりやすかったです。一つ一つの大切な所を丁寧に説明してくれました。私は表やグラフを書くのに時間がかかってしまうので、今日の講座を受けられて良かったです。
- 自由研究のレポートをまだかいていないから、今日の講義を参考にしておきたいと思った。目的とまとめがマッチしていないことは普通におこりそうだから、注意して書こうと思った。
- 自由研究はもう完成したと思っていましたが、タイトルの工夫やテーマとまとめが合っているかなど大切なポイントが多く、確認しておきたいです。常に目的を意識しながら実験を進めていくことが大切だと思いました。
- 架空の自由研究を見て、修正すべき点やわかりやすくする方法がわかったし、自分の今やっている自由研究の方もまとめている所だったので、家に帰って確認すべき箇所がわかった。
- テーマの名前がありがたいたりだったり、簡単にしすぎて逆にわからないテーマ名になりそうだったので、「インパクト」というのを頭に入れて考えようと思った。
- 目的とまとめがかみ合っていない研究をつくってしまうことが幾度かあり、まとめは目的に対応させるものだという事だといくことを頭に入れておきたいと思った。実験結果を表すとき、表・グラフの種類はとて多く、使い分けたい。自分で興味関心のあるものについて、自分で分かるようにかいていると他人に伝わらないことがあるので気をつける。特に専門用語は使わないように気をつけたい。